

施 政 方 針

前ページから
といたします。都市計画街路の東
パイパスについては、諸般の事情が
ら進んでいないことは誠に残念であ
ります。新年度は、線路横断の方法
を決定する際の基礎資料となるボー
リング調査の実施にとりまわりますが、
なお引き続き予算の獲得と、地元
の理解を得るための努力を尽くして
まいります。一般市道の改良につい
ても、朝日三線路、大鹿・三津屋線
をはじめとして、年次的に実施して
まいります。

今年度の梅雨期に能代
川分流が暫々定通水

生活環境の整備について、新津市
民にとって何より大きなしなかも永
年にわたる念願は、水害の根絶であ
ります。人間の育てた土地の歴史
にみられるように、先人達が嘗々と
して血のじむ闘いを積み重ねてき
たところでありました。関係をもちま
して、市議会をはじめ関係諸機関、
市民各位の並々ならぬ協力により、
能代川分流事業もいよいよ暫々定通
水を見ることになり、水害解消に画
期的な一歩を印すことができました。
この喜びを全市民と共に分かち合うた
めに通水式を計画いたしました。な
おこれに安んずることなく、さらに
上流部の改修に努力いたします。ま
た能代川分流事業に伴って、内面排
水用に設置される排水機場への排水
路整備についても、引き続き上流
部を実施することにしたのでありま
す。

施 政 方 針

政上はこれと重複するので過重負担
となりませんが、義務教育施設整備の
重要性にかんがみ、実施に踏み切っ
たのであります。このため、体育施
設として予定しておりました秋川地
区体育館は、同一年に柔剣道場とプ
ールとの同時に三つの施設の補助事
業確保の困難性と財政難から、昭和
五十九年度への延期を余儀なくされ
たのであります。

中学生を中心とする暴力行為等の
非行が全国的に起り、まさに国民的
な課題となっております。都市、
農村を問わず、どこでも、いつで
も問題行動が起こり得る状態は、憂
慮に堪えないことでもあります。学
校、家庭、地域が一体となって、次
代をになう青少年の健全育成に努め
なければなりません。とかく決め手
を欠くといわれるこの対策について
も、体制の整備その他有効な手段を
積極的に講ずることといたします。

また、今年、国連の主題による
「世界コミュニケーション年」であり
ます。秋川地区公民館、勤労青少年
ホームが新規施設としてオープンし
たしますので、これらがコミュニテ
ィセンターとして十分活用され、愛
と活力のまちづくりの基本である
地域コミュニケーションの実がなが
り、民主社会の形成と文化の向上に
役立つことを期待したいのでありま
す。

企業誘致をめざし
工場団地造成へ本腰

農業の振興については、当市の農
業、特に基幹となる米作については、

市街地南部地区の水害を解消する
ため、さきに覚路津大通川の樋管改
修を計画いたしました。調査の結果、
下流部への影響が予測されました。
このことを所念し、新年度におい
ては、国営灌漑事業の程島・小屋場
排水幹線の国営工区間が完了し、
県営工区間が着工されるのに合わ
せて、団体営工区間を公庫資金の
導入を図って同時着工を行い、県営
区間完工時には全線開通するように
進めることとしたのであります。新
津郷土地改良区との間に、受益面積
に基づき経費の負担割合、その他の
基本事項について大筋の合意をみて
いるものであり、これを強力に推進
し、南部地区の早期水害解消を図る
ことといたします。

水道事業につきましては、継続し
て配水管網などの整備を図っていく
ほか、三年度目に入る第六次拡張計
画にそって、事業の推進に努めてま
いらす。
下水道事業についても、新年度は
大幅な予算の増額を図り、計画とお
りの進捗を可能な限り進めることと
いたしております。その大部分は、
北上ポンプ場の建設に向けられます
が、面整備についても十分努力いた
します。
なお、根幹的な用・排水路整備事
業と下水道事業の逐次完成によって
全市的に市内中・小排水路の系統に
変化が生じ、新たな環境上の問題が
起こっております。これらの中、
長期的な整備計画を、都市下水道事
業の導入を含めて策定してまいら
いと考へます。

生産者米価の低減、収量の低下、
水田転作政策等によって低迷を続け
ており、また、特産の花水等も経済
不況の影響によって伸び悩みをみせ
るなど、依然として厳しい環境にあ
ります。これらの解消策として、新
年度も土地盤整備、農業用機械整
備、農道、用・排水路整備等の農業
近代化事業、種子・種苗対策、予防
対策等の補助奨励事業を総合的に推
進してまいります。さらに新年度は、
いよいよ農村総合整備モデル計画の
事業実施第一年度目にあたります。
さし当たって農道整備からの着手と
なりますが、第二年度を迎える進捗
地区のミニ総合パイロット事業の進
捗と合わせて、農村生活環境の整備
が進んでまいります。そのほか、新
農業構造改善事業として、グリーン
センター周辺の整備と多目的研修施
設の建設を実施いたします。新津
市の建設の将来像を探る視点といた
いのであります。また、水田再編対策、
松くい虫防除対策についても実施に
即した改善策をとり入れながら継続
して実施いたします。
商・工業の振興については、前
に申し述べました工場団地の造成を行
って企業の誘致を図り、勤労者住宅
資金貸付制度を新設して住宅建築に
関連する業種の活性化の一助とす
ることを新年度の施策としたほか、高
速交通の影響下にある小売商業環境
の改善についても、各企業の自助
努力に期待しながら、商工会議所と
共同で振興策を講じてまいります。
観光面では、白玉の滝の整備を行
って金津地区の観光開発を図るほか、

景気浮揚へつなげたい
住宅建設資金貸付制度

住宅対策については、東島地内及
び秋川駅裏地区に団地造成が計画さ
れ、宅地と住宅の供給が予定されて
おります。地元との関係についても、
大筋において合意されていることと
であり、今後の進展に期待したい
ところであります。なお、これらの
団地に対して、住民の賛成と協力を
得ながら緑化地域の指定等を行い、
環境整備基本条例にうたう望ましい
く環境づくりの先導的役割も果た
していただきたいものと願っております。

また、住宅建築を容易ならしめ、
合わせて景気浮揚の意味も含めて、
新年度に勤労者住宅建設資金貸付制
度を新設し、長期低利の融資制度を、
年間約二億円の貸付け枠で新築さ
せることといたしました。増設政策
も対象といたしますので、利用率も
かなり高いものになると考えており
ます。
公害対策については、近隣公害解
消のため、住宅地に混在する工場
の集約化を進めてまいりましたが、こ
の団地化について希望する企業によ
りまして、工場団地推進協議会が
過日発足いたしましたので、この団
体を中心に、商工会議所との協力の
もとに実現化を図る考えであります。
消防力の強化については、消防署
庁舎敷地の確保と用地の造成を行う
と共に、防火査察指導の一層の強化
を図ってまいります。

入院見舞金制度や高
齢者事業団の創設を

高齢化社会の到来に伴って、老人
保健法の平年度化など、老人福祉に
関する制度の改善が実施されること
になります。新年度においては、
高齢者入院見舞金制度の新設及び、
昨年から準備を進めてきた高齢
者事業団を発足させるなど、老人福祉
の一層の充実を図るほか、老人保健
法に基づき保健事業、即ち成人病対
策についての目標年次における到達
度の設定や、県体的な施策について
の計画策定を年度内に行う考えであ
ります。この中には、保健センター
構想も含め、医師会の協力のもとに
当市の実情に即したものにいたしま
す。乳幼児・妊産婦・心身障害児者
等、社会的弱者といわれる市民の医
療費助成については、県事業の一部
の改正があたりは、当市の従
来の制度の優れている点をそのまま
継続堅持することとして、福祉後援
阻止に努めたのであります。また、
国保事業の面で、任意給付の額の
引き上げなど、制度の充実を図るこ
とにいたしました。

阿賀小新設に引き続き
五中の校舎改築に着手
ます、義務教育施設の改善であり
ます。新年度は、新津第五中学校の
校舎改築に着手するほか、新津第一
中学校の柔剣道場、阿賀小学校のア
ールを新設することいたしました。
昭和五十八年度は、新設阿賀小学校
建設の継続第三年度目に当たり、財

新庁舎建設へ向け市議
会に特別委員会を要請

行政運営の能率向上は、行政に携
わる者は等しく努力しなければなら
ない重要な責務であります。この効
率化を目指して、過去三回にわたる
事務事業の見直しを土台にして、昨
年設置した「行政組織検討委員会」が
研究を重ね、改善案についての報告
が提出されたので、この実施につい
て検討いたしました。庁舎が狭隘
のため事務室の配置が困難なことが
主な要因でありましたが、今回は係
の新設や統廃合を行う改善にとどめ
たのであります。今後改善策につ
いて検討を継続し、新庁舎建設の際
の配置計画に反映させる考えであり
ます。
このように、行政運営の向上に深
い関係と市民センターとしての役割
をもつ市役所庁舎の建設は、ぜひ実
現したい事業の一つであります。新
年度においては、市議会の中に庁舎
建設に関する特別委員会を設けられ
ますようにお願い申し上げる次第
であります。
財政運営については、財源の量的
変化はもとより質的な変化も急速に

進み、今後ますます困難の度を増す
ことが予想されます。このような時
期にこそ、財政基盤の充実が必要な
ことは前述のとおりであり、長期的
には課税客体の増強につながる
諸施策を講じながら、当面、地方
財源の削減が国政の中で進められて
おりますので、民主政治の基盤とし
ての地方自治の重要性と、財源の再
配分について全国市長会等を通じて
政府に対して強力に訴えてまいら
いと考へます。

さらに今後は、従来からの制度や
施策を安易に漫然と踏襲することなく、
一定の効果があったものも、情
勢の変化によって陳腐化したものに
ついては、思い切った改廃を行って
時代の要請に合致した施策への転換
を図る、いわゆるスクラップアンド
ビルドを断行し、行・財政運営の積
極的な改善を行いたいと考へます。
以上施政の方針と施策の大綱につ
いて簡単に申し述べましたが、これ
らの実施について必要な条例及び予
算について、別途議案としてご提案
申し上げます。
とさあかとも、四月には統一地方
選挙が行われます。議員各位におか
れは、再出馬を予定されておられ
る向きも少なくないと思存します。ど
うか全員でたくご当選のうえ、晴
れて再びこの議場において元気で再
会できますように、折角のご健闘を
衷心からお祈り申し上げます。私
の所信表明を終わります。

お買物、ご用命は市内で

お買物、ご用命は市内で

慶弔用生花、生け花材料は
(株)川名花店へ
本町3丁目 ☎3-1187(代)
真心を花にたくして贈る店

《エ イ ゼ ン》
住まいの修理専門
小さな事でもお気軽にご相談ください。
(塗装・板金・左官・その他の工事もやっております)
住宅管理維持サービス
くまくら ☎4-5994
新津市善道町1丁目3-30

公文式数学・国語教室
山谷町教室 ☎02502(2)2458
新津市山谷町一丁目 福王寺 小嶋 史

公文式数学・英語教室
滝谷町教室 ☎02502(4)1461
新津市滝谷町8-46 石川 史子